

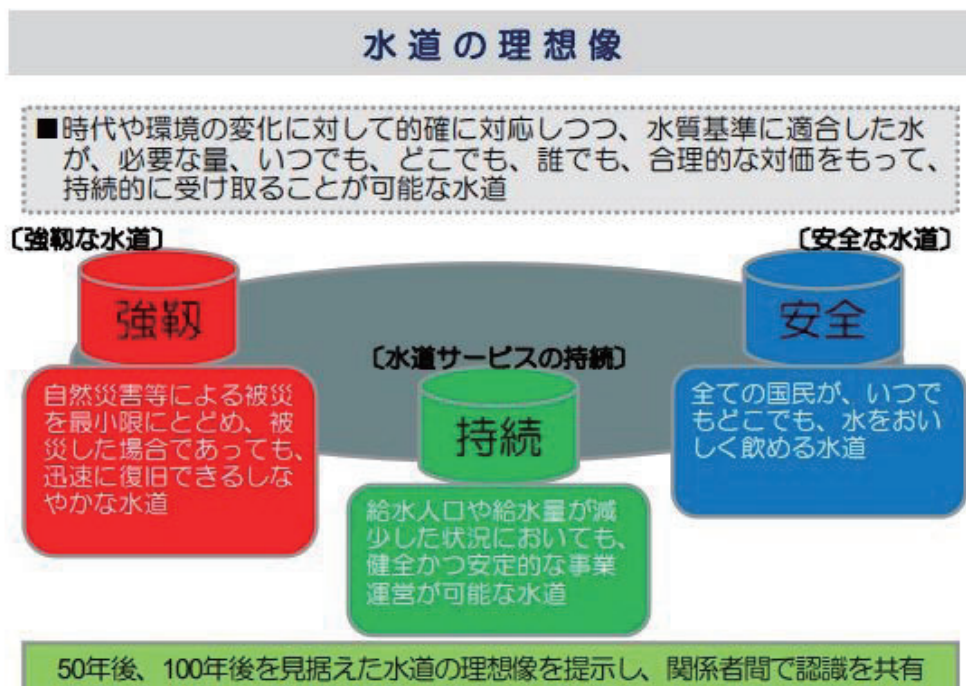
IV. 地域の水道の理想像と目標設定

1. 理想像

(1) 基本理念

水道事業は、利用者からの水道収益にて成り立っているものであります。利用者のニーズに可能な限り応え、サービスの多様化や更なるレベルアップを行い、利用者がより満足できるように努めます。利用者の視点に立った水道事業を経営していく上で、利用者との相互理解のための情報公開や水道に関するアンケート調査などを計画的に推進します。

新水道ビジョンで示された、「**持続**」、「**安全**」、「**強靱**」の観点に留意しつつ、50年、100年先を見据えた仙北市水道事業における基本理念を「**安心・安全で潤いのある生活環境のまちづくり**」と掲げます。



◇ 新水道ビジョン ◇

2. 目標設定

(1) 目標

理想像を具現化するため、「**持続**」、「**安全**」、「**強靱**」のそれぞれの観点から実情を踏まえた方策に関する目標を設定し、実現に向けて取り組んでまいります。

持続

- 地域の状況や見通しを踏まえ、多様な形態で水が供給される体制を構築し、**未普及地域を解消**します。
- 水道の必要性、健全な水道事業の在り方をご理解いただき、合理的な施設規模と水道料金の設定により、**安定した事業経営を実現**します。

安心・安全で潤いのある生活環境のまちづくり

強靱

- 水道施設の健全度が低下しないよう定期的に診断・評価し、適正に施設更新を行い、**耐震性を向上**します。
- 災害や緊急時の経験を踏まえ、危機管理体制および応急給水体制等を構築できるように**災害対応力を強化**します。

安全

- 水源水質に応じた必要な水準の浄水処理を行い、水源汚染リスクを軽減する体制を整え、規模に関わらない**水道水の安全性を確保**します。
- 小規模水道、飲用井戸等も含めて、地域の実情に応じたきめ細かい**衛生指導や管理体制を構築**します。